

アジア政経学会 2011年度第6回理事会 議事録

1. 日時 2011年11月19日(土) 15:15~17:50
2. 会場 慶應義塾大学 三田キャンパス 南館4階ミーティングルーム
3. 理事総数 24名
4. 出席者 18名(大橋、金子、小嶋、駒形、佐藤、澤田、清水、園田、高橋、高原、滝口、竹中、谷垣、永井、丸川、三重野、山本、渡邊)
5. 委任状提出 6名
6. 出席者合計 24名
7. 議長 金子理事長
8. 議事

- (ア) 15時15分に金子理事長が議長席に着き、開会を宣言。総務担当・山本理事より本日の出席者が18名にて、定足数12名以上を満たしているため、本理事会は有効に成立している旨の報告があった。引き続き、本理事会の議事録署名人として高橋伸夫氏、山本信人氏の2名を指名し、両氏はこれを受諾した。その後議案の審議に入った。
- (イ) 前回(2011年10月15日)理事会・評議員会議事録の確認を行った。評議員議事録に関しては、次回の評議員会の資料とすることを確認した。

議案1. 今後の学会方針と業務担当

金子理事長から、資料「理事一覧」を基に、各理事の業務担当について説明があり、地域性、専門性、ジェンダー、これまでの担当業務などを考慮して依頼をし、受諾を得られたとの報告があった。今後の学会方針としては、以下の諸点について特に重点をおいて学会運営を行っていきたい旨が表明された。

(1) 法人移行実施

- ・制度的整備および内規整備
- ・2012年秋申請、2013年4月から法人移行の実施
- ・新執行部選出と研究大会とのタイミングの調整

(2) 組織調整

- ・グローバル化への対応、国際シンポジウム、他国学会との交流などの検討
- ・HP 英文版の充実
- ・『アジア研究』編集の進め方の検討
- ・学会賞の活性化に向けての検討

(3) 会員満足度の向上

- ・研究企画委員会を通じたシニア・中堅・若手会員のアクティブな参加の促進
- ・定例研究会の定着と活性化

・会員の情報への accessibility 向上を目指した HP のリニューアルおよび ML の積極活用

[資料：理事一覧（2011年11月・2013年5月）]

氏名	所属	担当業務
大橋 英夫	専修大学	
梶谷 懐	神戸大学	研究担当（西日本）
金子 芳樹	獨協大学	理事長
小嶋 華津子	筑波大学	ニューズレター
駒形 哲哉	慶應義塾大学	
巖 善平	同志社大学	
佐藤 幸人	アジア経済研究所	
澤田 ゆかり	東京外国語大学	財務
清水 一史	九州大学	国際交流
園田 茂人	東京大学	編集
高橋 伸夫	慶應義塾大学	法人移行担当
高原 明生	東京大学	
滝口 太郎	東京女子大学	優秀論文賞
竹中 千春	立教大学	副理事長
谷垣 真理子	東京大学	国際交流
田村 慶子	北九州市立大学	広報
唐 亮	早稲田大学	
永井 史男	大阪市立大学	
平岩 俊司	関西学院大学	
松田 康博	東京大学	
丸川 知雄	東京大学	研究担当（東日本）
三重野 文晴	神戸大学	
山本 信人	慶應義塾大学	総務
渡邊 真理子	アジア経済研究所	

議案2. 学会活動および2012年度計画の検討

各担当より今後の計画についての報告があり、報告に対してのブレインストーミングが行われた。

- (1) 研究：前期同様に研究企画委員会を中心に研究大会、定例研究会の企画・運営を行うことが確認された。研究大会の時期やセッション内容については、法人移

行の推移と併せて検討を行っていくことになった。

- (2) 編集：『アジア研究』の年4回の発行回数を変えずに、発行間隔を調整しながら発行時期の適正化を図る、特集企画を増やして紙面の確保を図るなどの方針が確認された。
- (3) HP：英語版の充実を念頭においていくことが確認された。
- (4) ニュースレター：担当者を中心として内容・デザインなどを検討していくこと、また電子版の活用方法についても紙媒体同様に検討していくことが確認された。
- (5) 学会賞：審査対象の拡大（単行本を検討）やメーリングリストを活用した掘り起こしなど提案をしていくなかで今後の方針を検討していくことになった。
- (6) 財務：支出項目のつけ変え等、法人移行への財産処理を法人移行担当と連携しながら進めていくことが確認された。財務マニュアル作成も検討課題となった。
- (7) 国際交流担当：内容について人選・依頼も含め、早めに検討を進めていくことが確認された。

議案3. 『アジア研究』について

大橋理事より、第57巻第2号の編集状況について報告されるとともに、最近の投稿状況及び採択状況について報告があった。

またHPのPDF版のバックナンバーが開けない状態が発生しているため、これに関する情報収集を諮りたい。またHP上に ブラウザーやOS ごとの対応状況に関する情報を載せることと、新会員にバックナンバーを渡す際にはハードコピーを使用することが報告され、了承された。

議案4. 東日本大会（大東文化大学）の準備状況について

金子理事長より、2012年5月19日（土）に大東文化大学板橋キャンパスで開催されること、また開催校の担当窓口は内藤二郎氏、中野亜里氏であることが報告された。

議案5. 西日本大会（広島市立大学）の準備状況について

金子理事長より、2012年6月9日（土）に広島市立大学にて開催されること、開催校の担当窓口は板谷大世氏であることが報告された。

議案6. 全国大会（関西学院大学）の準備状況について

金子理事長より、2012年10月13日（土）、14日（日）に関西学院大学で開催されること、開催校の担当窓口は平岩俊司氏であることが報告された。

全国大会の日程調整について、次回から日本国際経済学会とも調整を行うよう提案があり、了承された。

また全国大会の内容については理事会日程との関連から、2012年7月から9月にかけてメールでの承認となることが確認され、了承された。

議案7. 公益法人制度改革について

高橋理事より、2013年度春までに一般財団法人化することについて、これまでの申請準備に関する経緯の説明があった。

また今後の申請準備として、公益目的支出計画の策定を進めることが表明され、了承された。

議案8. 法務局への役員変更届けについて

山本理事より、2012年4月に法務局へ役員変更届を行うため、理事の印鑑証明が必要であることが報告された。

議案9. HP更新・ニューズレターの編集について

議案2において話し合いがなされたため、省略された。

議案10. 入退会者について

山本理事より、入会申請者8名、退会者2名、逝去1名、休会者1名の報告がされ、了承された。

<入会者>本名純、陳建平、井上一郎、外山文子、吉川純恵、朴璐莎、
鷺尾友春、大澤武彦

<退会者>陳友駿、アナトラ グリジャナティ

<逝去>王 建

<休会者>布施哲

その他

1. 韓国出張について

竹中理事より、韓国・仁川で開催された“Asia Economic Forum”に、アジア政経学会としてパネル“Natural Disaster and Civil Society in Asia”を開催。本学会より高原理事、竹中理事他三名が参加。聴衆は50名程度。活発な議論が展開された。

2. ドイツとの交流について

高原理事よりドイツの学会より交流依頼があることが報告され、日程があれば国際シンポジウムでの講演も視野に入れることが提案された。テーマは中国関係。

3. 名誉会員の件

前回からの経過報告を確認し、このあとアジア政経学会より理事長名で書面を本人宛に送ることが提案され、了承された。

4. 偽メールについて


山本理事より、(1)11月13日に会員宛に「第8回定例研究会のお知らせ」というお茶の水学術事業会を装う偽メールが届いた点、(2)11月17日に対応しHPに注意を促す一文を掲載したこと、が報告された。

金子議長が午後17時50分、閉会を宣言して審議を終了した。


以上の決議を明確にするために、議長及び議事録署名人は次の通り署名、押印する。

平成23年11月19日
特殊財団法人アジア政経学会

議長

金子芳穂 

議事録署名人

高橋伸夫 

議事録署名人

山本信人 